

湯の岡の月が彩る柄の虹児

月岡温泉のホテル摩周では、虹児が描いた絵のデザインを再現した浴衣を有料で貸し出している（「あしゆ湯足美（ゆたひ）」で）



新発田の市街地から南へ7、8^時。水田地帯の先に100年の歴史を持つ月岡温泉がある。新潟市からも近く、以前は団体客が多く訪れた。だが、旅行者の好みの変化などでホテル・旅館の軒数は最盛期から半減。「温泉街に元気を取り戻すきっかけ」と、

を再現した浴衣を作成し、貸し出しを始めた。1着1080円。利用者には温泉街の飲食店、土産物店などで使える500円分の金券を配布し、付近の散策を勧めている。柄は梅の花やクジャクの羽など4種類で子供用もある。発案者の庭山忠・同ホテル販売企画部長(37)は、新入社員と訪れた麓谷虹児記念館で絵に触れ、その魅力

再認識した。個人的には、1枚ずつ配色が異なり、それぞれが印象に残る絵本の絵がお気に入りという。

温泉街から小さな川を挟んだ所に観光公園「月岡カリオンパーク」がある。チャペル風の鐘がついたタワーをシンボルに、「恋人の聖地」をアピール。訪れた日も何組かカップルを見かけた。手をつないで階段を上り、寄り添ってスマホで自分たちの写真を撮る男女も。

新潟県内の様々な日本酒を試せる店など、ひととおり温泉街を見て入浴。月岡の湯は、硫黄の含有量が多いけれど臭いは薄い。弱アルカリ性で肌にもやさしいという。その色は、絵本「かぐやひめ」で虹児が描いた竹のように、きれいな緑色をしている。

「月岡温泉ホテル摩周」では、虹児が描いた絵の中にある柄